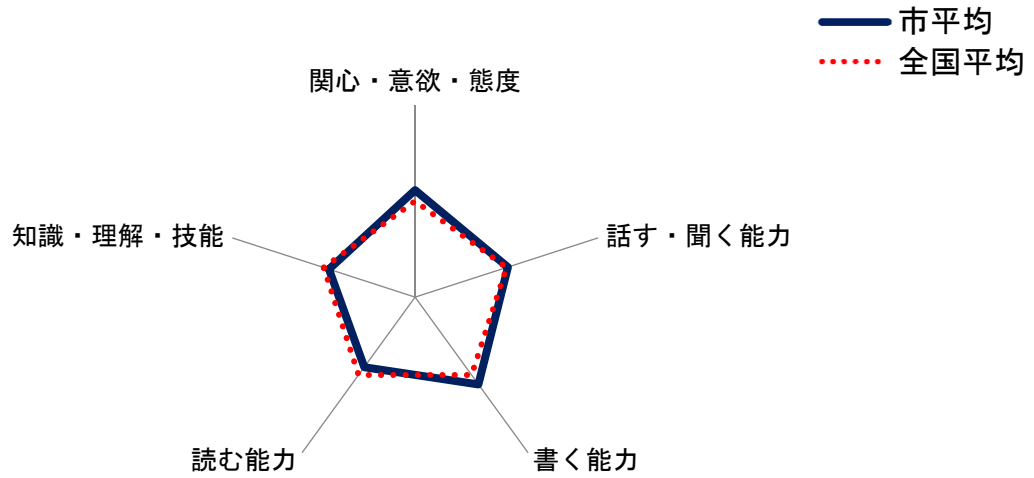
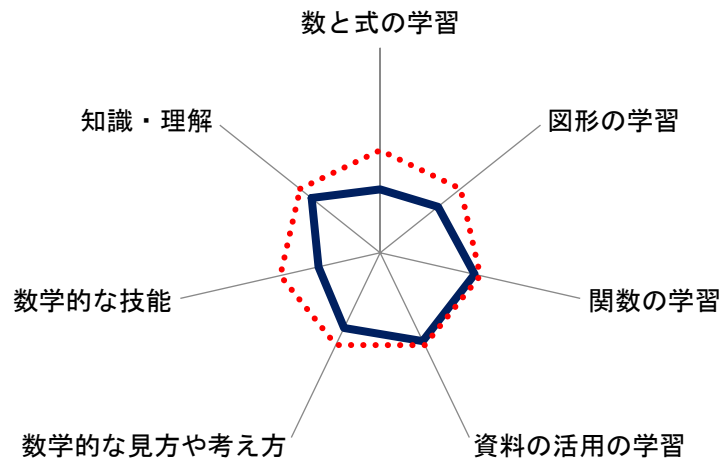


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

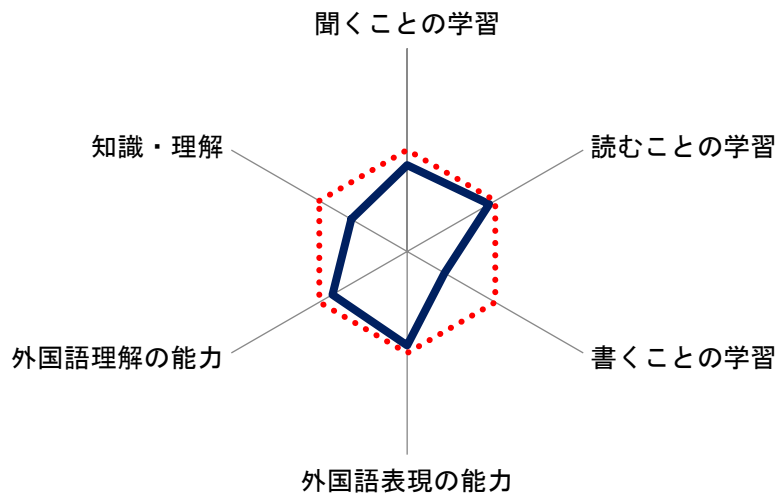
【国語】



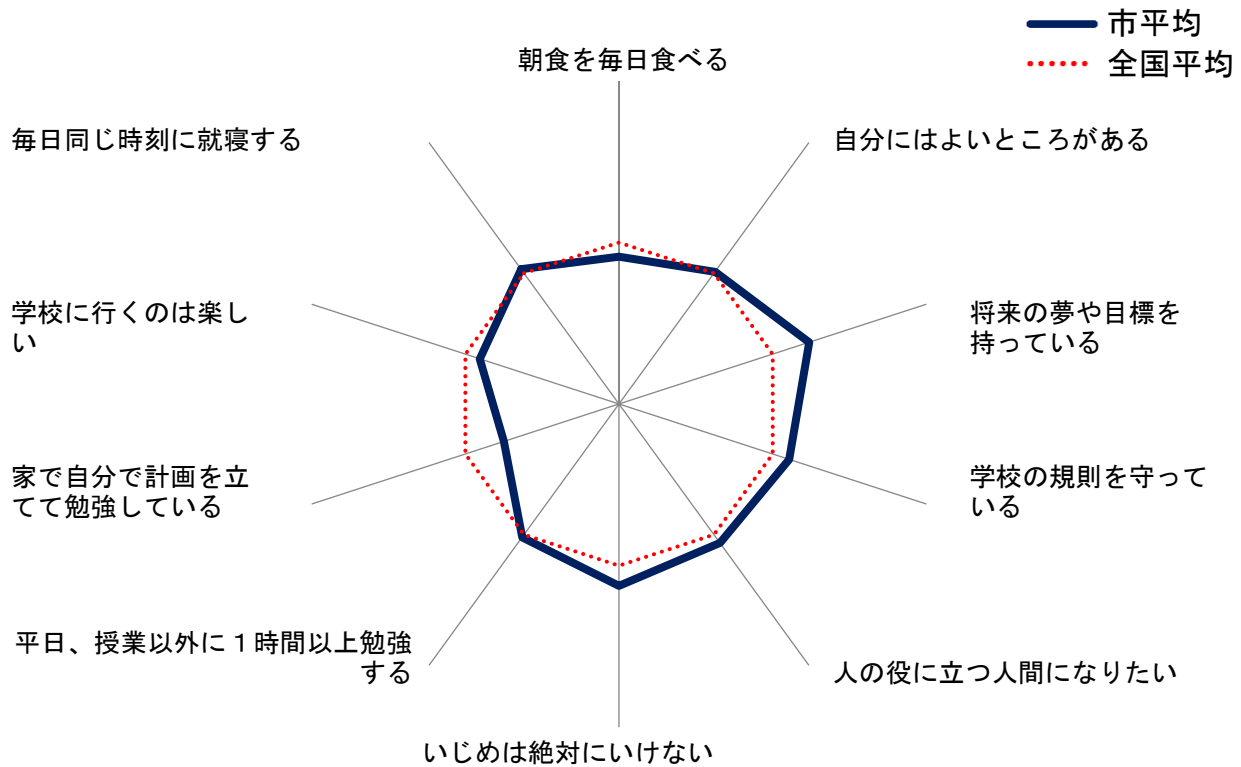
【数学】



【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は全ての項目が全国平均とほぼ同じであり、数学、英語は全ての項目で全国平均とほぼ同じか下回っている。特に数学は「数と式の学習」、「数学的な技能」、英語は「書くことの学習」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後は更なる学力の底上げをしていくとともに、全ての領域において知識と活用を一体的に捉えた学力を育成できるような取組の推進が望まれる。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」、「いじめは絶対にいけない」の各項目が全国平均を上回っており、自尊感情や人権意識に関する意識が高い傾向にある。「家で自分で計画を立てて勉強している」、「朝食を毎日食べる」の各項目は、小学校と同様に全国平均を下回っており、小・中学校及び家庭や地域とが一体となって基本的な生活習慣を身に付けた児童生徒を育てていく取組が望まれる。